

# 安心防災帳 ワークショップ版 使い方

## 1 Raspberry Pi の起動



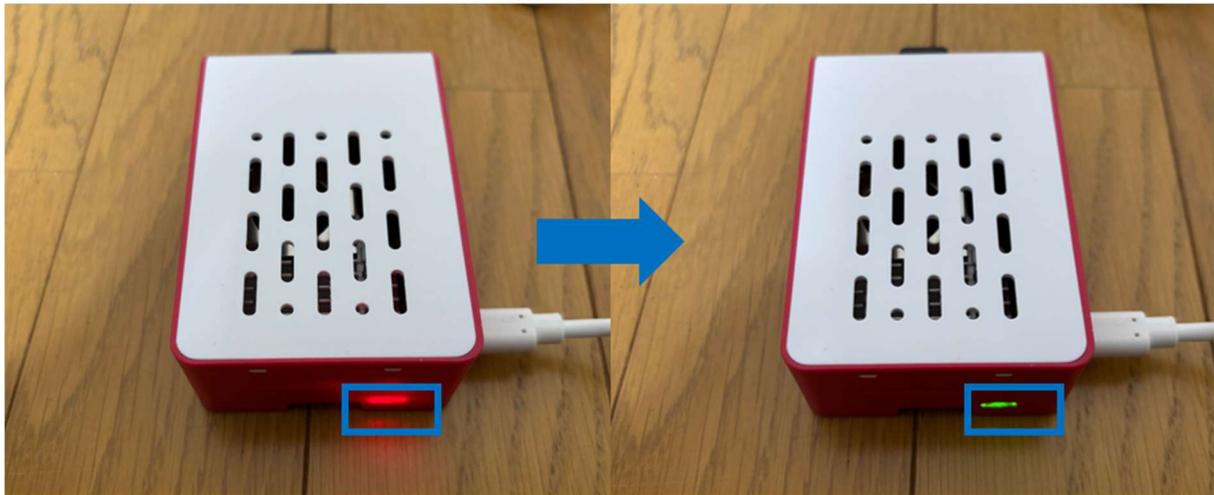
以下がセットになっています。

- Raspberry Pi 本体 ※システムをインストールした microSD カードをセット済み
- Wi-Fi アダプター ※本体に最初から挿しています。挿したままにしてください。
- microSD カード 予備 ※システムをインストール済み
- 電源ケーブル
- カードリーダー ※カードを配布用に複製するとき以外は使いません。
- ドライバー ※基本的に使用しません。
- HDMI ケーブル ×2 本 ※基本的に使用しません。

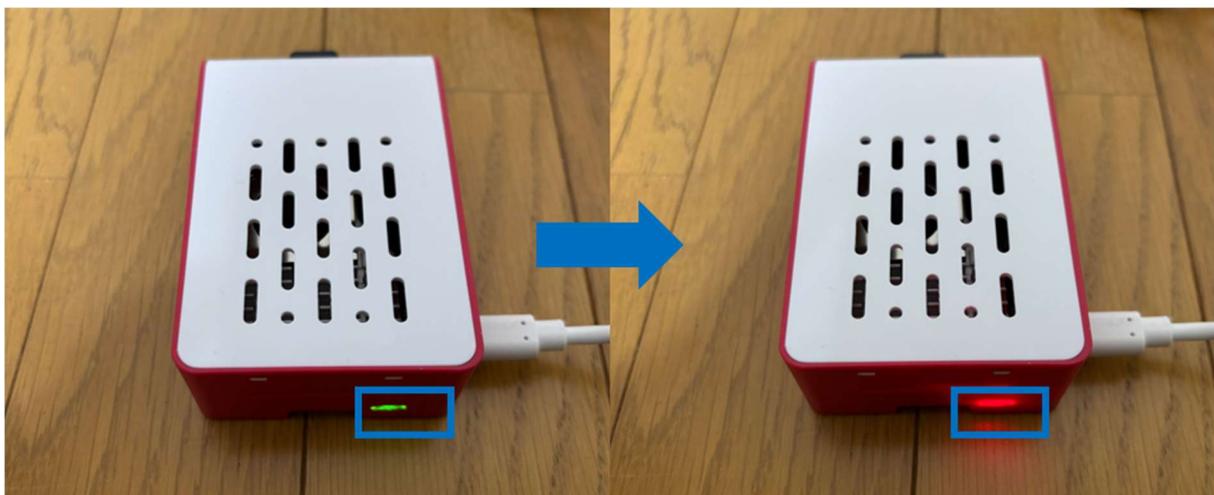
Raspberry Pi 本体と電源ケーブルを繋ぎ、コンセントに差し込みます。

電源ボタンが赤→緑点滅→緑点灯と変わると準備完了です。

(パソコンやスマートフォンで Wi-Fi に「rehab-checkkit」が表示されていたら完了です)



電源をオフにする際は、電源ボタンを 5 秒長押ししてください。赤に変わればコードを抜いて構いません。



## 2 Wi-Fi への接続（管理者、参加者 共通）

SSID rehab-checkkit

パスワード rehab-checkkit

### 2.1 スマートフォンからの接続

以下の QR コードから接続できます。



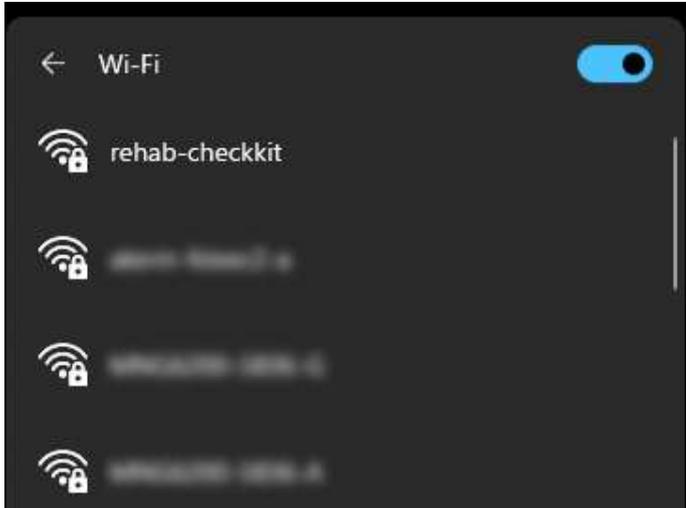
「安全性の低いセキュリティ」と表示されるかもしれませんが、無視してください。

（外部のネットワークには繋がっていない状態なので問題ないです）



## 2.2 パソコンでの Wi-Fi 接続

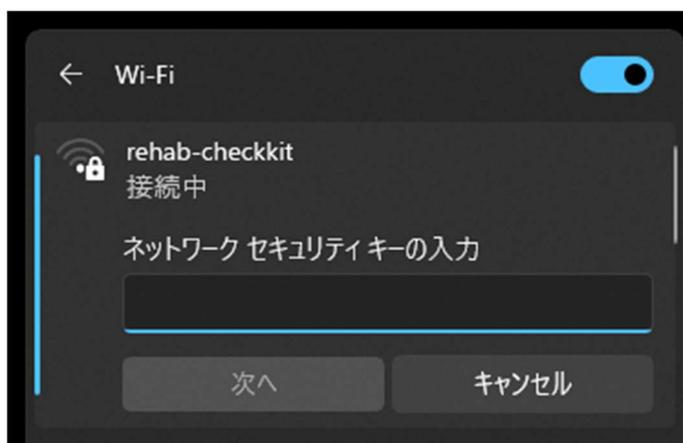
1. 「rehab-checkkit」という Wi-Fi を選択してください。



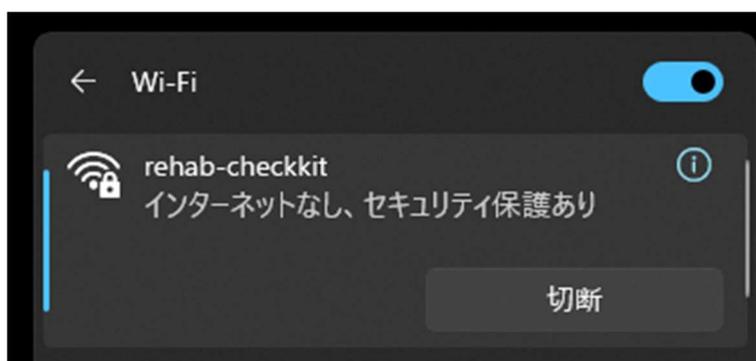
2. (Windows の場合) 以下のような表示が出た場合、「セキュリティキーを使用して接続」を選択してください。



3. ネットワークセキュリティキーに「rehab-checkkit」を入力してください。



4. 接続できた画面です。「インターネットなし」となっていますが問題ありません。



### 3 管理画面への接続、アカウントの発行 (管理者)

1. [http://rehab-checkkit.local/\\_admin/](http://rehab-checkkit.local/_admin/)にアクセスしてください。

ユーザー名 rehab

パスワード anshin

ワークショップ参加者の人数分のアカウント (ID、パスワード) をこの画面で発行

します。



- Excel 等を開いて、ユーザ名とパスワードが記載された CSV を作成します。  
必要なアカウント（ワークショップの参加人数分）を作成してください。  
Excel の場合、A 列がユーザ名、B 列がパスワードです。

	A	B	
1	test1	test1	
2	test2	test2	
3	test3	test3	
4	test4	test4	
5	test5	test5	
6			

- CSV ファイルとして保存します。ファイル名は任意のもので構いません。



4. 管理画面に戻り、「CSV インポート」ボタンをクリックします。



The screenshot shows a yellow header with a logo and the text "自分でつくる 安心も 防災帳". Below the header are three buttons: "新規登録" (New Registration), "CSVインポート" (CSV Import), and "CSVエクスポート" (CSV Export). Underneath the buttons is a search field labeled "キーワード:" with a "条件をリセットする" (Reset Conditions) button. At the bottom, it shows "件数: 0件" (Number of items: 0 items) and "表示件数: 10件" (Number of items to display: 10 items) with a dropdown arrow.

5. 「ファイルを選択」ボタンを押して、先ほど編集した CSV ファイルを選択します。  
ファイル名が表示されたら「確認する」ボタンを押します。



The screenshot shows a yellow header with the same logo and text as the previous screen. Below the header, the text "CSVインポート" (CSV Import) is displayed. Underneath, there is a "CSVファイル" (CSV File) section with a "ファイルを選択" (Select File) button and the filename "Book1.csv". Below this are two buttons: "戻る" (Back) and "確認する" (Confirm).

6. 「この内容で登録する」ボタンを押します。



The screenshot shows a yellow header with the same logo and text. Below the header, the text "CSVインポート" (CSV Import) is displayed, followed by the question "下記を登録しますか?" (Do you want to register the following?). Underneath, it shows "CSVファイル Book1.csv" (CSV File Book1.csv) and "登録件数 5件" (Number of items to be registered 5 items). At the bottom are two buttons: "戻る" (Back) and "この内容で登録する" (Register with this content).

7. 登録が完了しました。「一覧に戻る」ボタンで管理画面トップに戻れます。



### CSVインポート

登録完了しました。

CSVファイル Book1.csv

登録件数 5件

一覧に戻る

8. CSVに入力したユーザが登録されています。

参加者にそれぞれのID、パスワードを伝えてください。

※パスワードの確認、変更は「編集」ボタンから行えます。

※アカウントの削除は「削除」ボタンから行えます。ワークショップ実施後に削除すると、入力内容もすべて破棄されますので、一度CSVエクスポートした上での操作をおすすめします。



新規登録

CSVインポート

CSVエクスポート

キーワード:

条件をリセットする

件数: 5件

表示件数:

10件

ログインID	
test1	編集 削除
test2	編集 削除
test3	編集 削除
test4	編集 削除
test5	編集 削除

9. 同じ画面で「CSV エクスポート」ボタンを押すと、「users.csv」というファイル名で現在登録されているユーザ情報がダウンロードできます。Excel 等で表示可能です。（未登録の場合、何も表示されません）

10.各ログイン ID をクリックすると、各参加者が入力した内容の結果が画面に遷移します。その画面を印刷することで参加者に結果を配布することもできます。背景も印刷するように設定すると、正しく印刷されます（例：Chrome の場合「背景のグラフィック」にチェックを入れて印刷する）



## 4 「必要な備え」選択肢の編集（管理者）

1. <http://rehab-checkkit.local/> にアクセスしてください。

[http://rehab-checkkit.local/\\_admin/](http://rehab-checkkit.local/_admin/) にアクセスしてください。

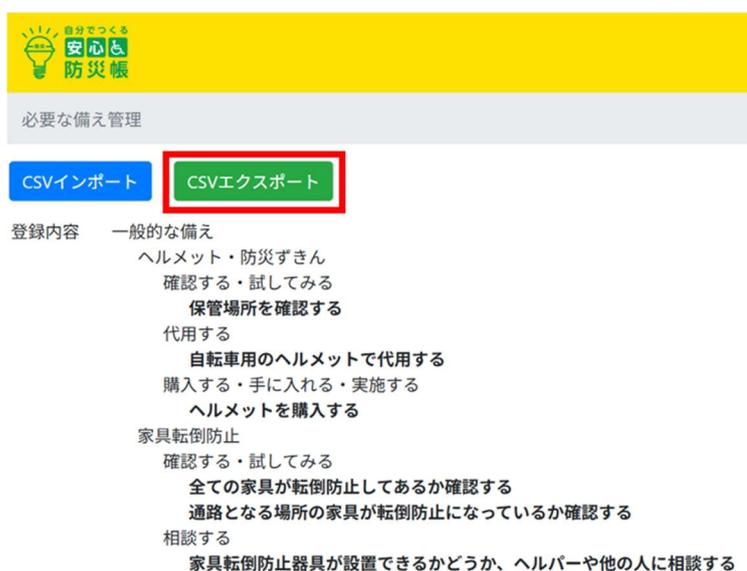
ユーザー名 rehab

パスワード anshin

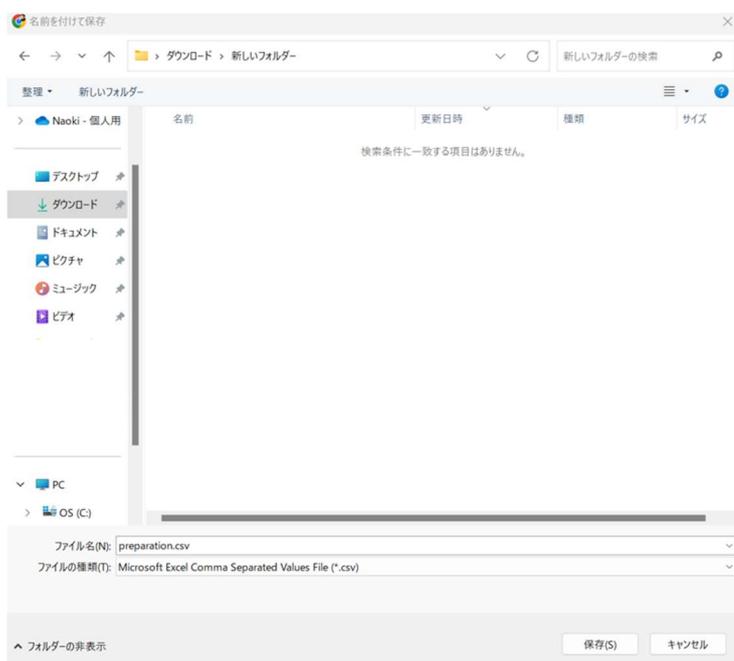
2. 画面右上の「必要な備え管理」をクリックしてください。



3. 「CSVエクスポート」をクリックしてください。



4. CSV ファイル (preparation.csv) を任意のフォルダに保存してください。



5. 保存した CSV ファイル (preparation.csv) を Excel 等で開いて編集してください。

- D 列より右側に入力した内容が、選択肢として表示されるようになります
- A~C 列は編集しないでください。正しくインポートできなくなります。
- 列の幅を広げたり、「折り返して全体を表示する」をクリックすると、文章の全体が見えるようになり編集しやすいです。

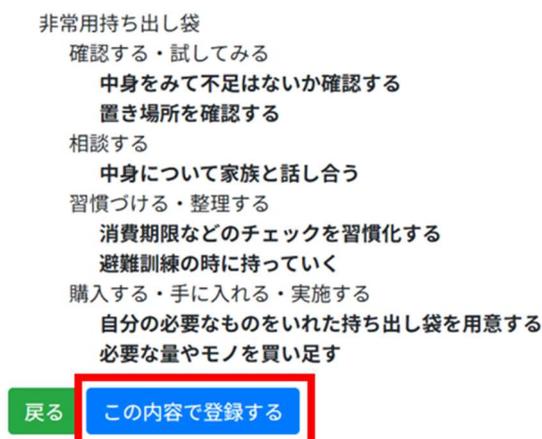
6. 管理画面に戻り「ファイルを選択」をクリックし、先ほど編集した CSV ファイル (preparation.csv) を選択します。その後、「確認する」ボタンをクリックします。



7. CSV ファイルの内容が表示されます。



8. 画面を一番下までスクロールして、「この内容で登録する」ボタンをクリックします。



9. 「登録完了しました」と表示されれば完了です。管理画面を閉じて構いません。



## 5 サイトへの接続（ワークショップ参加者）

10. <http://rehab-checkkit.local/> にアクセスしてください。

以下のQRコードからもアクセスできます。



11. 開いた画面で、事前に設定されているユーザー名、パスワードを各自で入力してください。

A screenshot of a login page with a yellow header. The header contains a lightbulb icon with the text '聴覚' (Hearing) inside it. Below the icon, the text reads '自分で行く' (Go by yourself), '安心' (Anshin), 'も' (mo), and '防災帳' (Bousai-chou). Underneath that is the subtitle '~障害者の災害対策チェックキット~'. The main content area is white and contains a 'ログイン' (Login) section with two input fields: 'ユーザー名' (Username) with the placeholder 'Enter your Username' and 'パスワード' (Password) with the placeholder 'Enter your Password' and a visibility toggle. A blue 'サインイン' (Sign In) button is at the bottom of the form. At the very bottom of the page, there is a copyright notice: 'COPYRIGHT (C) NATIONAL REHABILITATION CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIES. ALL RIGHTS RESERVED.' and a small green upward-pointing arrow icon.

12.ログインできたら内容の入力を進めてください。

自分で作る安心防災帳 ～障害者の災害対策チェックシート～ ログアウト

---

わたしの情報 わたしの身体

---

わたしの情報

研究参加番号

性別  男  女

年齢

[次へ進む >](#)

COPYRIGHT (C) NATIONAL REHABILITATION CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIES ALL RIGHTS RESERVED. ↑

## 6 端末の複製

OS、Web システム、データベース等がすべて microSD カードに格納されています。

端末を複製する際は

- Raspberry Pi の購入
- microSD カードの複製

が必要です。

### 6.1 Raspberry Pi の購入

ワークショップ会場で使う端末には

- Raspberry Pi 本体（バージョン 4 以上）
- Raspberry Pi を格納するケース
- 電源ケーブル（USB Type-C で接続）
- microSD カード（最低 8GB 以上の容量。UHS-I 推奨）

が最低限必要です。

Amazon 等でセットになっているものを買うのがおすすめです。

セットの例 <https://www.amazon.co.jp/gp/product/B0CZLC1FB1/>

端末を準備する際には microSD カードにシステムをインストールする必要があります。

microSD カードリーダーをお持ちでない場合、ご準備ください。

カードリーダーの例 <https://www.amazon.co.jp/dp/B006T9B6R2/>

8 台以上のスマートフォン、タブレット等の接続を可能にするためには Wi-Fi アダプターが必要です。

Wi-Fi アダプターの例 <https://www.amazon.co.jp/gp/product/B0D1K9NX2T/>

## 6.2 Raspberry Pi の組み立て

1. カバー等とのセット一式で購入した場合、基本的に同封されている説明書の指示に従って、物理的な組み立てを完了してください。
2. 説明書には microSD カードへの OS のインストールの指示があるかもしれませんが、そちらには従わず、本マニュアルの次項「5.3 microSD カードへのシステムのインストール」の記載に従ってください。

## 6.3 microSD カードへのシステムのインストール

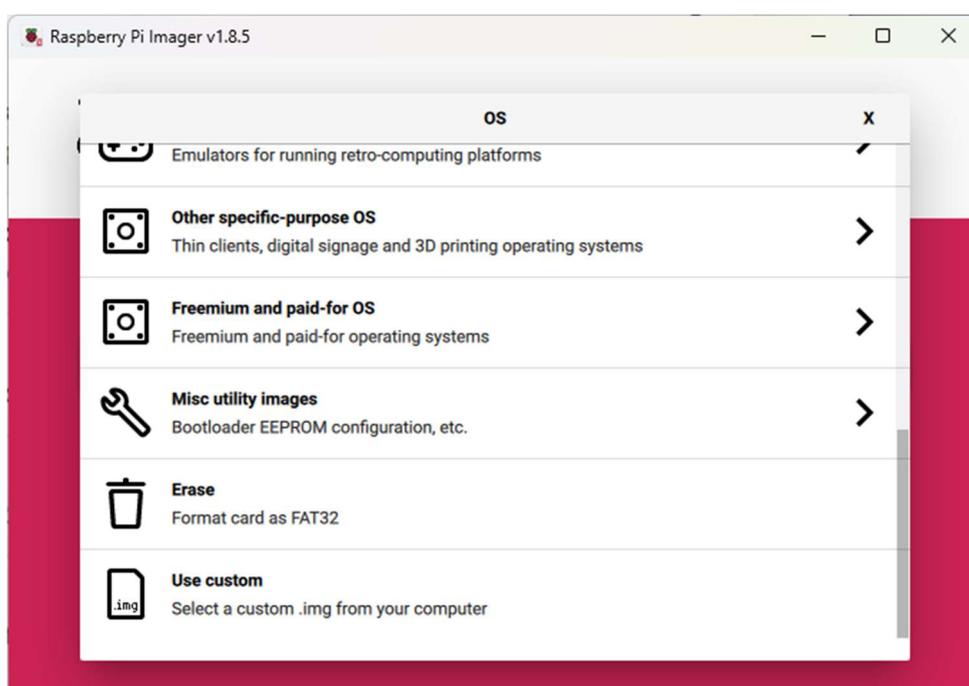
1. 複製用のイメージファイル (rehab-checkkit\_20250215.img.xz) を準備してください。納品物に含まれているブルーレイディスク内の「microSD」フォルダにイメージファイルが入ってますので、作業するパソコンにコピーしてください。
2. microSD カードリーダーをパソコンに接続し、インストールしたい microSD カードをカードリーダーに挿入してください。
3. Raspberry Pi Imager をパソコンにインストールしてください。

<https://www.raspberrypi.com/software/>

4. Raspberry Pi Imager を起動してください。

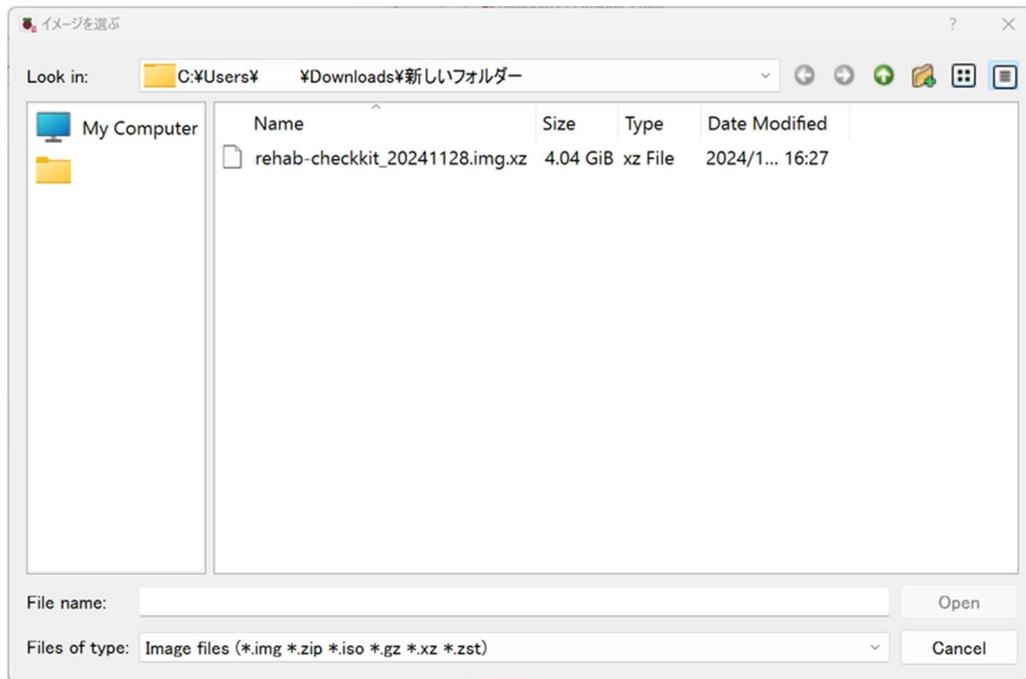


5. 「OS を選択」で開いた画面を下までスクロールし、「Use custom」を選択してください。

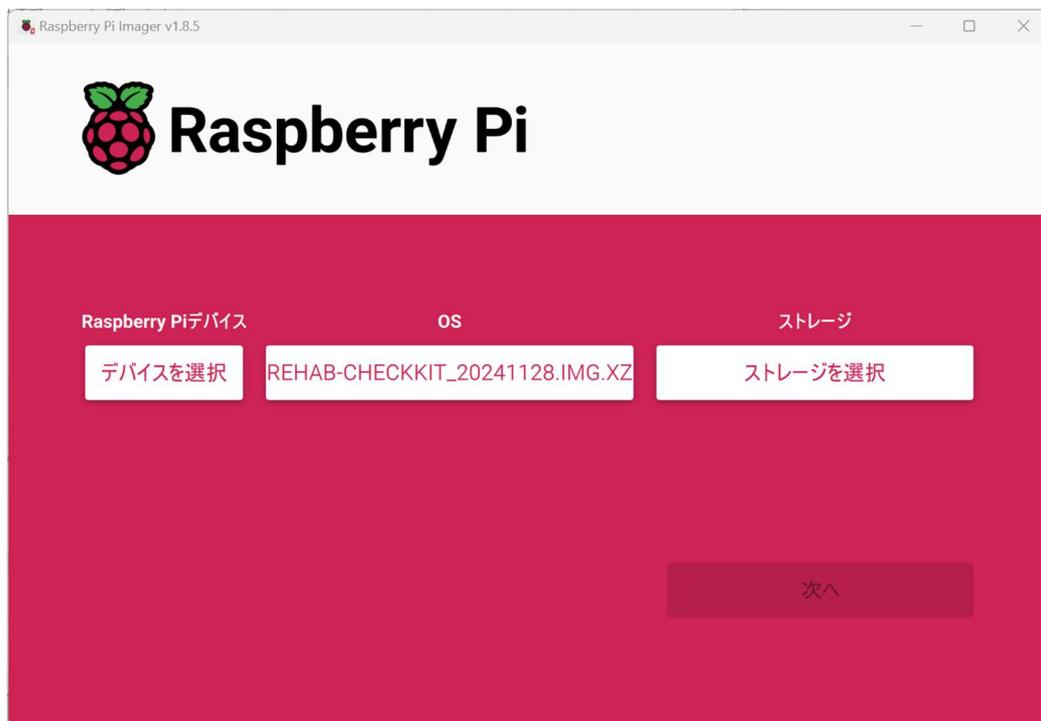


6. 手順 1 で用意したイメージファイルを選択し、右下の「Open」ボタンを押してください。

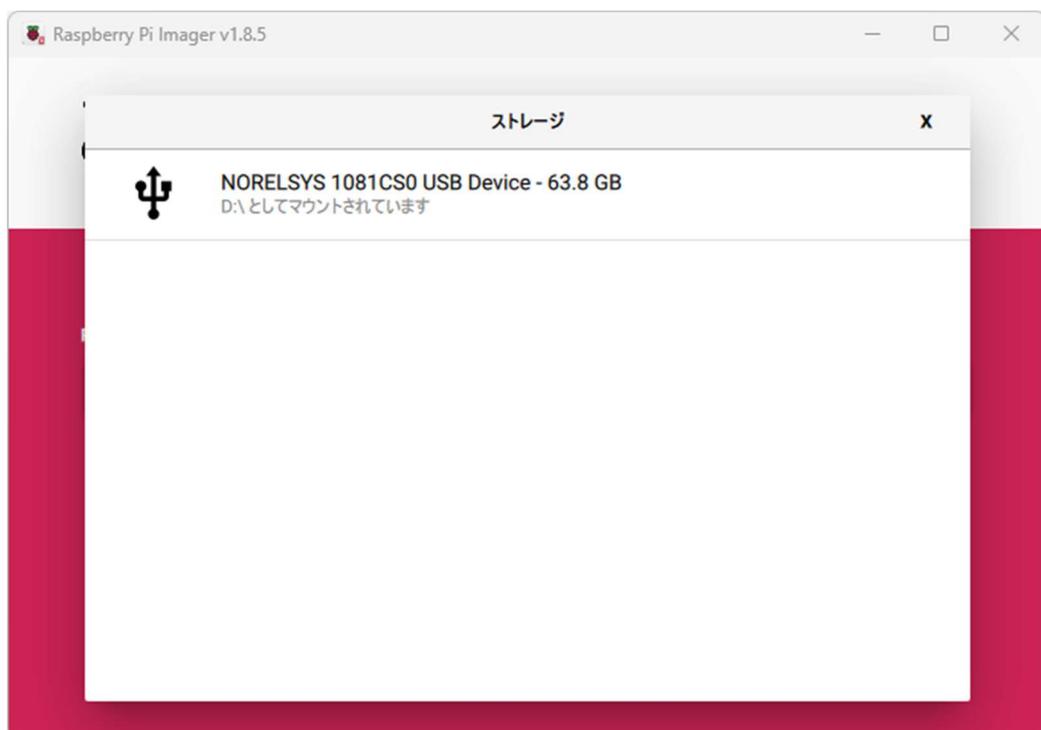
※イメージファイルは「ダウンロード」フォルダに置いておくと選択しやすいです。



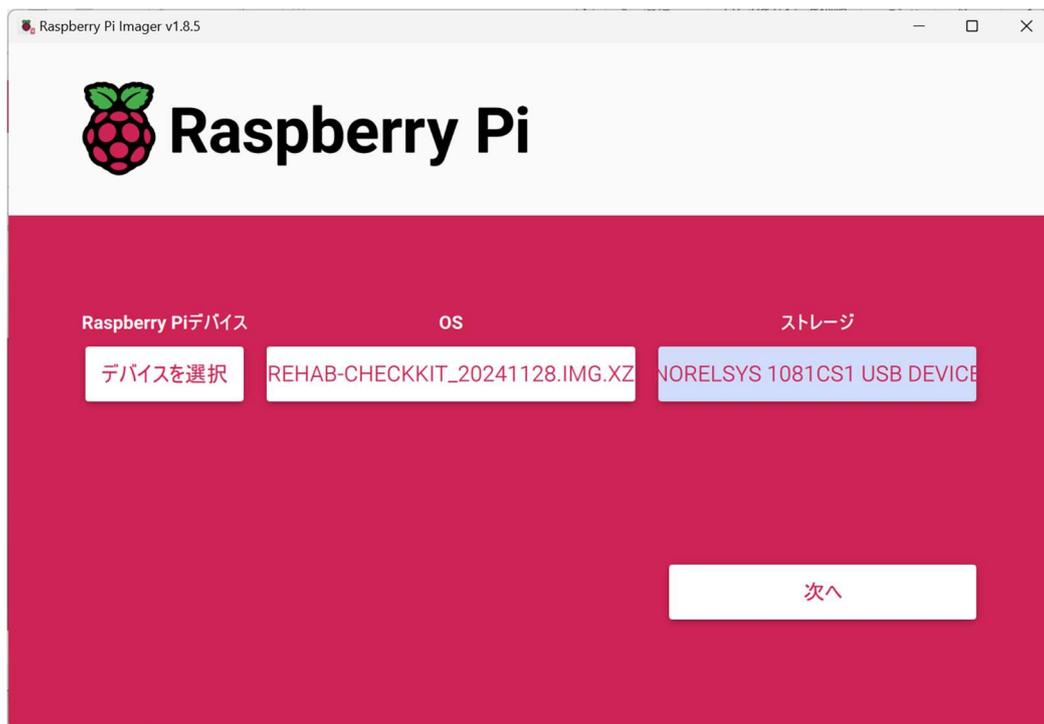
7. 最初の画面に戻り「ストレージを選択」を押してください。



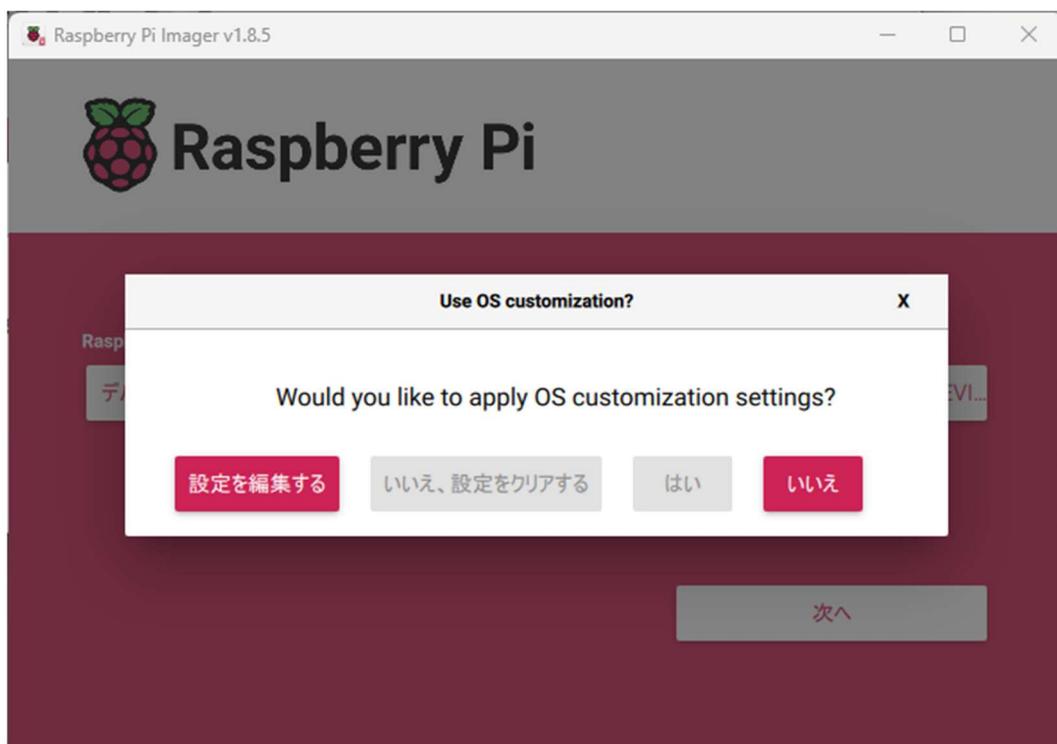
8. 表示された画面で、手順 2 で挿入した microSD カードを選択してください。



9. 「次へ」を押してください。



10. 「いいえ」を選択してください。



11. 「はい」を選択してください。



12. 書き込みが完了するのを待ちます。



13. 終了の表示が出たら microSD カードを取り出してください。

「続ける」ボタンを押し、ウィンドウ右上の×を押して、Raspberry Pi Imager を終了します。



14. 抜き出した microSD カードを Raspberry Pi に差し込んで起動してください。